

# ゆきの灯り

第21号  
平成30(2018)年  
9月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228

## 広島平和記念公園に献呈 神石高原 平和の千羽鶴運動



8月22日(水)に4つの協働支援センターで、広島平和記念公園に千羽鶴の献呈に行ってきました。今年は5万5千羽の折鶴が寄せられました。行きのバスの中で、山本剛久さんが、クイズ形式等で、原爆についての話をわかりやすくしてくださいました。現地では、原爆の子の像の前で黙とうし、その後、千羽鶴を献呈しました。神石高原町友会の方を含めたボランティアガイドの皆さんに、公園内を案内していただきました。原爆資料館も見学し、平和について考える大切な一日になりました。



千羽鶴を献呈する町内の児童・生徒



ボランティアガイドの説明を熱心に聞いています

8月26日に東京神田で標記の行事がありました。ひろしま里山ウエーブとは、地域貢献に意欲のある東京圏の若者を呼びこみ、広島県の中山間地域において、具体的な課題解決を通じた繋がりを創り、地域内外の活動の担い手の確保と実践活動者の拡大を図るものです。この事業は今年で4年目を迎えます。神石高原町では過去3年、町が主体的に行ってきたが、今年度は油木協働支援センターが協力することになりました。県下で6市町が参加していますが、民間団体が加わるのは神石高原町だけです。

ひろしま里山ウエーブ  
地域プレゼンテーションに臨んで  
センター長 赤木 健一

堂々たるプレゼン



各市町関係者と イエイ!

### 8月の専門部会

#### 高齢者等在宅生活支援事業専門部会

8月7日に4名の部会員の方に参加いただき、民生委員定例会での意見交換、その後センターに移動し、部会を開催しました。民生委員定例会へ参加させていただくのは今回が初めてで、高齢者の支援を協議していることや思いを説明しました。長年、高齢者の方々の関わりを続けておられる民生委員さんのお話は非常に学びが多く、有意義な時間となりました。

### ゆきキッズクラブ

8月7日(火)に工作教室をしました。松岡純夫さんを講師に迎えて、今年度新しく始めた教室です。木をのこぎりで切り、金

づちで組み立てます。その後、好きな色を塗り、ニスで仕上げました。キッズたちは楽しみながら夢中で、本立てを作りました。



組み立て作業中



「たすけあう」をみんなで考える

8月10日(金)に平和教室をしました。講師の久保祐輔さんが、出されるいろいろな課題をやりながら、「たすけあう」ということを、キッズと職員も一緒に考えてみました。その後、夏休みの宿題もしました。

8月17日(金)の楽描き教室は、講師の若林佐都子さんが、もこもこしたモチーフから、絵を描くように指導されました。キッズたちは思い思いに楽しい絵を描きあげました。その後もトマトやスイカなど、時間いっぱい夢中で描きました。



楽描きの前に先生の説明

8月23日(木)2回目の陶芸教室をしました。講師の小川忠男さんが1回目で作った作品を、素焼きしてくださり、それを磨き、釉薬をつけました。どんな色になるか、焼きあがりを楽しみます。



素焼きをきれいに仕上げる



# 各地で夏の行事がありました



8月14日 いちば自治振興会 納涼祭



8月14日 源流の里しんさか 夏祭り



8月4日 仙養自治振興会 夏祭り



8月15日 西油木自治振興会 盆踊り



8月14日 小野自治振興会  
ふなつ交流の夕べ



8月13日 安田自治振興会  
夏まつり



8月13日 宗兼の盆踊り

今年の夏は暑かったですね。先日油木高校で行われた高校魅力化のためのワークショップに行ってきました。油木高校の魅力化プロジェクトの一環で「目指すべき人材像」を参加者の皆さんで考え、意見を出し合いました。30名程度の参加者で出た意見は様々で、ユニークなもの

もありました。私自身は「目指すべき油木高校生像」を考えながら、私はこれからどんな自分でありたいかという事を顧みる時間となりました。子どもばかりに求めるのではなく、大人が変わらなければならない時期に来ているのかもしれない。久保

## 動物駆逐用花火安全講習会のご案内

動物駆逐煙火は、火薬取締法に規定する火工品です。使用には煙火消費保安手帳（動物駆逐用）を取得する必要があります。手帳取得には、保安講習を受ける必要があります。取得後も年1回保安講習を受ける必要があります。

次の日程により、講習会を開催しますのでご参加ください。

- 日時 平成30年11月8日（木）  
受付 午後6時～6時45分  
講習 午後7時～
- 場所 油木コミュニティセンター
- 講師 株式会社ライズ
- 持参品 写真（2.5×3cm）・新規希望者・再交付の方  
※サングラス・着帽・背景のあるものは不可  
煙火消費保安手帳・・・更新の方
- 料金 新規 5,500円（本人負担 1,900円）  
更新 2,500円（本人負担 900円）  
手帳を再交付または5年更新 5,000円（本人負担 1,700円）

◎花火代金は当日購入に限り半額補助となります。  
申込期限 平成30年10月26日（金）  
新規の方は申込時に、住所・氏名・生年月日・電話番号が必要です。

申込先 油木協働支援センター TEL 82-0701  
FAX 82-2228  
E-mail y-kyoudou@sky.kagayakinet.ne.jp

10月の ゆきキッズクラブ  
自然を楽しむ会 10月27日（土）



油木亀鶴山八幡神社 秋季大祭  
みこし  
ギャル神輿かつぎ

2018年 10月7日（日）  
集合場所 八幡神社 拝殿前 神石高原町油木3147  
集合時間 12:50 15時ごろ終了予定

かつぎ手には  
プレゼント運量

みこし  
お神輿  
かついでみませんか？

ワッショイ  
ワッショイ

ハッピー お貸しします

申し込み不要  
当日参加大歓迎

お問い合わせ 秋季大祭事務局(平井 卓志) 電話 090-4690-1166

油木亀鶴山八幡神社  
ギャル神輿かつぎ  
「見る来る住む Miraijyu」  
が今年度も神輿かつぎを  
盛り上げます



昨年度の様子

## 今年もやります！ ゆきふるさとまつり 2018

会場 油木シルトピアグラウンド  
とき 10月21日（日） 午前9時から

油木の祭りは、よさこい3団体の豪華共演  
高原野菜の即売会やグルメ屋台も毎年大人気です。  
皆さん誘い合ってご参加ください



釣りの道楽 その一  
安田自治振興会 会長 矢田貝光男

前回は人生初釣果に至るまでを紹介したので、今回は川釣りから海釣りを紹介します。

小学校の高学年になると、溝川を下り一寸大きい川（入谷の阿下川）に出るとハエゴカワムツを、ミミズや青虫マツムシを餌にして竿も市販の志那竹製の継ぎ竿となり、糸はナイロン製のテグス・ウキ・針も市販品使用して、入谷の（福井川）、田川瀬の（帝釈川）では餌にセムシを加えてもつばら餌釣りに没頭し、ときにはイタウグイを釣ったこともあった。

いつの日かカガシラ（毛針使用）と言った釣法を覚えてシラハヤまたはヤナギハヤオイカワを釣り、餌釣りより違う面白さを感じた。

珍しい釣りでは、油木の宮島さんの社殿下で金魚を釣ったこともあった。

釣りは「鮎に始まり鮎に終わる」と言われるが私はこの頃に、「おぐり」の池で初めて鮎を釣った。

高校時代、就職して数年間は地元を離れての生活で、釣りはしなかったが、岡山へ転職になったのを機に、海釣りを始め、陸釣りの投げではキス・カレイ・ギザミキユウセン・アナゴ・フグなど、ウキ・探り釣りではメバル・ホコカサゴ・アイナメ・チヌ・黒鯛など、サビキ（疑似餌）では岡山名物のママカリ・サッパ・コノシロなどが釣れた。

陸釣りで物足りなくなると、同僚などと船釣りに出るようになる。今までとは違い、魚種、数、共に比べ物に成らない程の釣果で楽しいばかりであった。

高梁市に転勤となり海が遠くなったが、幸いなことに近くに「高梁川」と「成羽川」があったので「鮎釣り」を始めたが、その頃の服装はシャシの上下。川に入ると成羽川は冷たい・高梁川は暖かい、同じ川でもこんなに違うものかと感じながら三年間鮎釣りを楽しんだ。

その後、岡山に転勤になり船釣りをまた始めたが、船長・船の都合が良い時でなければ釣りに行けないので、自分で操船したくなり船船免許を取得して、友人の船を借りての釣りを開始した。

数年後福山へ勤務になり釣り場が仙酔島、走島、田島、横島に変わっての釣行になり、船を都合するのに制約があり、ついに自分の小船三人乗りまで買ってしまった。係留地は自宅（安田）で、軽トラに積んで釣りに行くから船を出し、自分の思いとおりの時間場所、方法で釣ることが出来る。退職してからはほとんど海には行ってなく今は孫と阿下川でのハヤ釣りくらいです。

私の場合「ドロバイ」に始まりハヤに終わる「こと」になりそうです。

まだ書き足りないことはありますが、「私の釣り道楽」は、終わります。

